



この子たちに、しあわせを贈るのも「明るく正しい選挙から、といえましょう。(乳幼児一斉検診から)

行事メモ

1日から
1日～30日
26日
26日から
下旬
下旬
12月中旬まで

火災復興第一工区本換地杭入
昭和四十一年新築家屋調査
第四回鳥取市中学生防火弁論
大会
秋の火災予防運動
第五十回仔牛品評会
年金相談室
インフルエンザ予防接種

イギリスやアメリカでは、選挙違反というものがほとんどないと言われている。ケネディ大統領の選挙のときも、ルーズベルトのときも、違反は一件もなかったぞうだ。こういう正しい選挙が行なわれるようになった習慣は、イギリスでは三百年の長い選挙の歴史のなかでできずかれています。そのイギリスでも、本当に正しい選挙が行なわれるようになったのは、八十年前からだぞうだ。アメリカでも正しい選挙は、五十年前からだとはいわれています。だからといって、この超スピードの社会の中で生活している我々の時代に、

五十年も八十年もかかってでないと、正しい選挙ができないというのであってはならないと思う。投票する権利を、自分の利益の対象にしようというような考えがあつては、いつまでたつても清く明るい社会は望めない。私たちに与えられたこの権利は、みんなが共同で、よりよい社会を築くための、正しい代表者を選ぶ権利であつて、個人の利益と交換するためにある権利であつてはならない。また一票が、みんなの社会を良くするか、悪くするかの大切なカギだということを感じたいものだ。

選挙の心がまえ

昭和四十一年度
交通安全スローガン
ブレーキは早めに！
スピードは控え目に！

止まれ

秋の火災予防運動 (11月26日(日) 1226月2日)

みんなので防ごう

不注意による火災

火災のシーズンがきました。これからは日一日と寒さが加わるにつれて、コタツ・ストーブ・たき火などが多くなり、そのうえ空気が乾燥して火災を起しやすくなります。

火事は容赦なくすべてを焼きつくします。火は人間の日常生活に切り離すことのできない大切なものでありながら、ちょっとした不注意で尊い人命を失ったり、平和な家庭生活の場を一瞬にして灰にするなど恐ろしいものです。

そこで、この恐ろしい火事から生命・財産を守るようにと、十一月二十六日から十二月二日までの一

週間「全国秋の火災予防週間」として火災予防のための運動が実施されます。

本市でも、この期間中はいろいろな防火宣伝行事を行ないますが、市民みんなで防火に対する心がまえを一層強め、この運動の主旨を理解して、ご協力くださるとともに、火災を起さないようみんなで見守りましょう。

なお本年は九月現在で四十七件(昨年同期より二十九件減)の火災が発生し、六百七十万円(昨年同期より二千五百万円減)の損害を出しています。

消防本部の重点目標

- 一、家庭の防火態勢の推進
- 二、火災による人命損傷の防止
- 三、事業所などの自衛消防活動の確立

議会だより

し尿処理 直営化を否決

臨時市議会

住民の直接請求に基づく臨時市議会が、十月二十一日午前十時三十分から開かれました。

そして、し尿処理直営化期成同盟から請求のあった「し尿処

理直営化のための清掃条例の改正」については鳥取環境衛生公社も業務を開始しており、その必要を認めないと、提案どおり可決され、閉会しました。

建設日記

完成間近い湖山町の市営住宅



完成間近い市営住宅

湖山町に二十二戸

第二種簡易耐火構造平屋建

市は、住宅難の解消に積極的に取り組んでおり、昭和三十六年から五カ年計画で、旭町に建設していた二百三十戸の改良住宅を、本年九月で完成しましたが、こんどは湖山町に二十二戸の住宅新築を急いでいます。

これは、事業費千六百五十万円をかけて本年六月から建設にとりかかっているもので、その一部(八戸)は十月末日に完成し、残り十四戸は十一月末日に完成の予定です。この住宅は、第二種簡易耐火構造平屋建で、六畳・三畳・炊事場・便所・シャワー室などが整備されており、また環境もよく、入居者には喜んでいただけることでしょう。

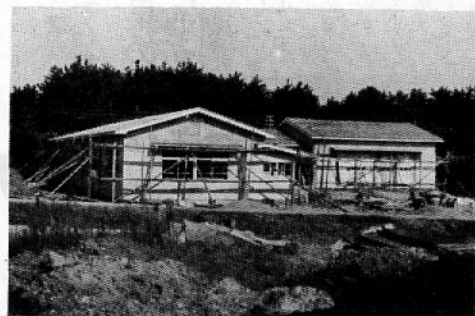
湖山保育所の完成も間近

開園は来年一月から

市は、湖山地区に十一月末日を完成目標に保育所の建設を急いでいます。

この保育所は総工費七百六十万円(建築費七百二十万円・備品四十万円)で延面積四百二十二平方メートル、収容定員百二十名となり、現在ある保育所の中では一番大きな規模のものとなります。

なお、この保育所は七名の保母の配置が予定されており、来年一月には開園の運びとなります。



完成間近の湖山保育所

第九回市民体育祭

明德校区が優勝 (二回目)

二万三千人が参加

ことしの市民体育祭は、八月七日旧鳥大グラウンドで陸上競技をかわきりに開かれ、十月八日明德小学校校庭で市民運動会をもって幕を閉じました。

この日は、市内の小・中・高生の体操や婦人会のおどり、また一般の校区対抗リレーなど力こもった演技が行なわれました。

なお、市民体育祭に参加した延人員は約二万三千人にも達しました。

また、市民体育祭の成績はつぎのとおりでした。

- 優勝 明德校区 一六六、二五二点
- 二位 賀露 一五九点
- 三位 美穂 一五五点
- 四位 醇風 一四二、五二点
- 五位 大正 一三六、六二点
- 六位 豊美 一三四、四二点
- 七位 日進 一三二、七五二点
- 八位 面影 一一四、七五二点

大谷敏枝さん(日ノ丸自動車)に市長賞

第十五回働く年少者の生活文十一月四日県庁の講堂で第二十回

明るいニュースや

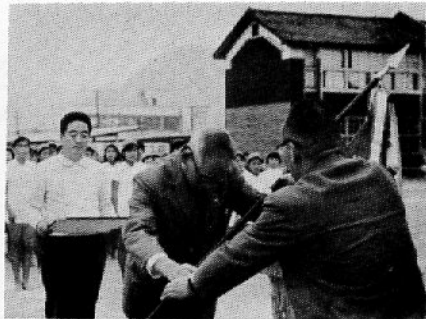
街の話題を

お知らせください。

鳥取市尚徳町一一六

鳥取市役所総務部庶務課

広報係



優勝旗をうける明德校区

働く年少者の保護運動の一環として「働く年少者の優秀生活文の授賞式と年少労働者のつどい」が行なわれ、日ノ丸自動車鳥取営業所の大谷敏枝さん(十六才)に、第十五回働く年少者の生活文で鳥取市長賞(地方賞)がおくられました。

また、鳥取少年少年室では、中小企業の利用者と年少労働者福祉委員の研究会・産業カウソセリング制度の実技講習を、つぎのとおり計画しています。使用者はぜひおいでください。

鳥取信用金庫会議室

午後一時〜四時半

(東部地区)

境界杭の埋設と観測作業に

ご協力ください

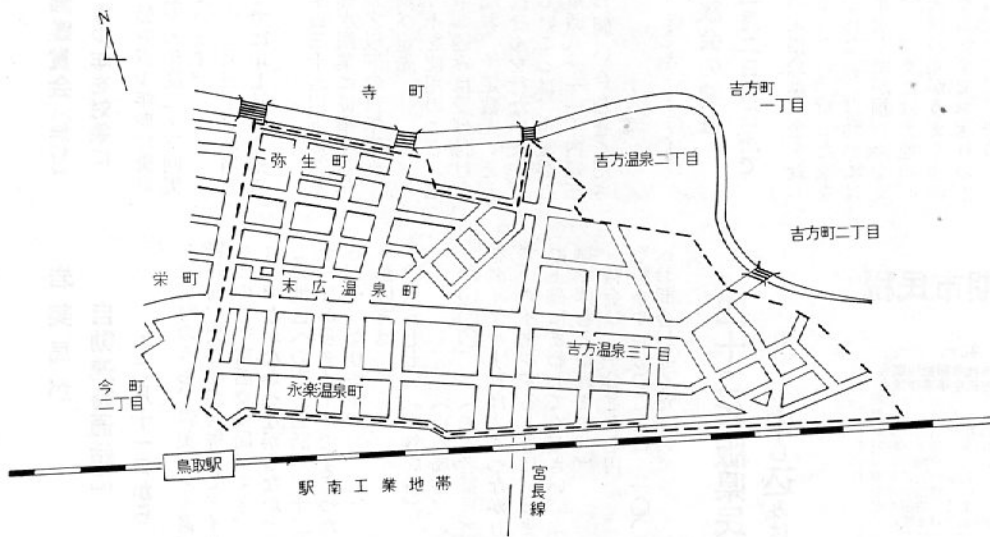
鳥取火災復興土地画整理事業は、鳥取火災で焼失した区域を中心に、市街地を対象として、事業

を進めています。これまでに換地処分(区画整理の最終的処分)を終った地区は、六か工区のうち

三か工区(第四・五・六工区)で、残り三か工区のうち第二・三工区についても、土地の境界杭の埋設や観測の作業が近く終了します。

十一月からは、第一工区(別図参照)の各ご家庭に市の係員が伺いし、境界杭の埋設や観測を行ないますので、各関係者のご協力をお願いします。

火災復興土地画整理事業 (第一工区)



湖山池周辺の住宅に規制

詳しいことは市都市計画課へ

最近、湖山池周辺の開発が一段と進み、住宅の建築もしだいに増加しつつありますが、この地区は昭和四十年四月建設省告示で都市計画公園に指定されており、このため建築物については、いろいろの制限があります。不明な点、詳しいことは市都市計画課(電話八一―一―内線三〇三番)へお問い合わせください。

季節労務(出かせぎ)の

ことはどうぞ……お気軽に

鳥取職安には、大阪・愛知などから、いろいろの業種の季節労務(出かせぎ)の求人が殺到しています。詳しいことは、鳥取職安(電話五二二番)へお問い合わせください。

ととり市報



中学校でのスライド映写

雇用促進協議会の

積極的な活動

鳥取市は昭和十八年の大震災で、ほとんどが全滅するほどの大被害を受けました。さらに昭和二十七年には、被災戸数五千二百二十八戸、損害額二百億という多大な大打撃をこうむりました。しかし、鳥取市民は、この廃墟から、フェニックスのように立ち上がりました。しかも大火直後すでに、これからの鳥取市は工業化によらなければならぬと、駅南地区を工場地帯に指定し、三万坪の土地を買収するなどして、産業的にならぬ特色のない、消極的な消費都市だといわれた性格を、変えることに努力してきました。

こういった意気ごみのなかで、工業生産はめざましい発展をとげました。それぞれの事業主の努力もさることながら、それ以上に、優秀な労働力がなしに遂げた偉業だといえます。

鳥取市は昨年四月に高田市長を会長に、市内の有力企業三十四社の代表で組織した、鳥取市雇用促進協議会を設立し、一人でも多くのみなさんが、鳥取市の産業にない手となって、地元企業に就職していただき、郷土発展のために尽していただくことを念願に、各事業所の労働条件の改善、待遇の向上、さらには厚生施設の充実などに努めており、一方工場誘致も進み、この九月には大手電気メーカーの三洋電機株式会社の進出をみました。今までに誘致した工場は十七社となり、鳥取市全体の就労総数は五万人をこえる規模となりました。

近くなつた

近畿経済圏

鳥取市は山陰線・因美線・一級国道九号線・二十九号線・五

意欲的な

厚生施設の充実

駅南にセンターも完成間近か

就職する者にとって、もう一つの関心事は、厚生施設はどうだろうということでしょう。最近では県外・県内を問わず、どの企業でも、厚生施設の充実を力を入れています。これは、賃金格差の少なくなるにつれ、当然考えられなければならないことだといえます。場合によっては、賃金以上に厚生施設の充実いかんが、就職希望者の意志決定をうながす要因の一つともなるからです。

地元産業に 若い力を

来春の卒業生のうち、就職希望のみなさんは、もうそろそろ就職先の相談などがあり、希望や不安がいり乱れて、心配の種となっていることでしょうか。

あるとき、「鳥取市にこんな立派な会社があつたとは知りませんでした」と。大阪の勤め先をやめて、鳥取の企業に就職した青年は語ってくれました。本当にそうです。以前と違って鳥取市には、いい会社や工場が多くなりました。

十三号線が交差するかなめであつた五月には待望の国鉄智頭線の建設に着手し、これが完了すると鳥取市から山陽や近畿への距離は短縮され、また、国道二十九号線は、高速道路並に立派に舗装も終わり、姫路までたった三時間たらずで行くことができるようになります。

県外との格差が

なくなつた賃金

現在鳥取市には、三十名以上の労働力を必要とする企業が六十社を越え、これらに働く労働者は八千人をこえています。賃金も急速によくになり、県外との格差はほとんどなくなり、なかには大企業を上回る会社もできてきました。

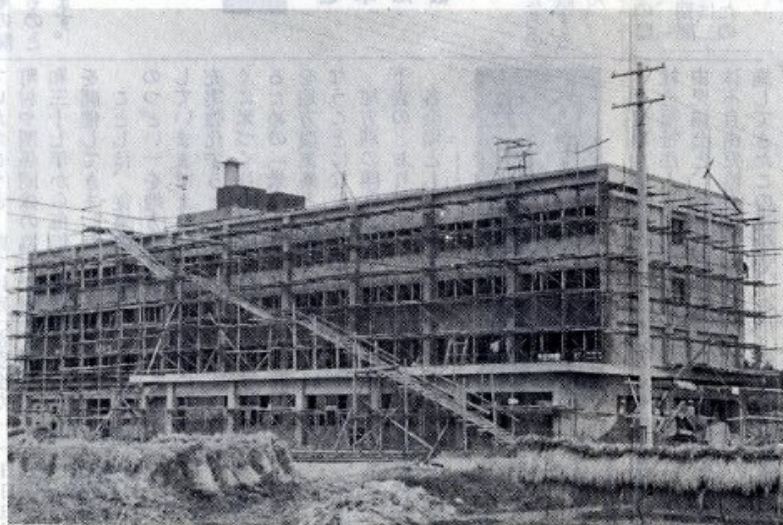
就職する者にとって、初任給はいくらだろう……ということは一、番気になることであり、大切なことです。鳥取市の企業の来春の新規採用者の初任給は大幅にアップされ、中学卒業生では、最高で一萬六千六百円、平均では一萬三千八百五十円、高

現在、駅南工業地帯の一角に、大浴場・娯楽室・理髪部・教養室・宿泊設備などの整った鉄筋コンクリート四階建て、延べ面積二千五百平方メートルの豪華な従業員厚生福祉センターの建設が進んでいます。これは約三十社が加入している鳥取工業会が総工費一億円をかけて建設中のもので、五千人の従業員の厚生施設として、近く完成することになっており、多くの関係者からよるこばれています。

十九の中学校を 巡回映写

全員にパンフレットも

雇用促進協議会では、一人でも多くの方々が、安心して地元企業で働いてもらえるようにと鳥取にある企業の地理的・条件的優位性や、都会とは比べものにならない生活環境の良さなどを背景とした工場を紹介するスライドをつくり、鳥取公共職業安定所管内の十九の中学校を巡回し、好評を得ました。さらに、各事業所の内容を正しく知ってもらうため、賃金・諸手当・厚生施設・従業員数・製造品目など細かく記入し、それぞれの事業所の製品や作業内容などがよくわかるよう、写真を豊富にのせたパンフレットをつくり、就職希望の中学生全員に配布して、理解を深めてもらうことに役立てています。



完成間近かい鳥取工業従業員福祉センター

鳥取市雇用促進協議会

事務局は市役所商工課内

電話 8111-内線 258

日本海TV
市政のマド
十一月二十六日(土)
午後二時から

駅前都市改造
鳥取市建設部長
三谷 信也

鳥取市雇用促進協議会